

## 緊急人道支援学会 企画セッション フォーマット：

「現地主導型人道支援の実践と共創：ローカライゼーションの課題と可能性」

- 要旨(400-800 字:企画の背景、主な論点を含めてください。Should include background and main discussion points. 200-300 words.)

2016 年の「グランド・バーゲン」以降、従来の国際 NGO や国連中心の支援から、現地アクター主導の支援(ローカライゼーション)への転換が重要課題となっている。資金の直接提供や意思決定への参画、能力強化が目指される一方で、理念と現場の間には依然として大きなギャップがある。さらに、第 2 次トランプ政権以降の USAID 機能縮小や国連拠出金削減により、人道支援セクターは深刻な財政的打撃を受けているが、世界各地で紛争や内戦が頻発し、人道ニーズはむしろ増大している。こうした状況は、限られた資源の中で「誰が支援を担うのか」という問いを一層先鋭化させ、現地 NGO や CBO が支援の前線を担う状況を生んでいる。ローカライゼーションには統一された定義はないが、互いの役割や強みを補完し合い、共創する関係性の構築が不可欠である。本分科会では、現地 CBO の育成やパートナーシップ形成などの実践事例を紹介しつつ、ローカライゼーションを「誰のために、何のために進めるのか」、国際 NGO・ドナー・現地アクターはどのような役割を果たすべきか、持続可能で対等な協働関係を築くには何が必要か、といった点について参加者とともに議論を深めることを目的とする。

- 発表者の発表内容・略歴、およびファシリテーター、コメンテーターの略歴(Planning Manager, Chair/Moderator, and Presenters and Discussants, if applicable)

登壇者：

赤星 聖(あかほし しょう)

神戸大学大学院 国際協力研究科 准教授

神戸大学大学院国際協力研究科に所属し、国際関係論、とくに、国際制度論やグローバル・ガバナンス論が専門。博士(政治学)を神戸大学で取得し、これまでに、日本学術振興会特別研究員や関西学院大学法学部准教授を歴任。主な研究テーマは、気候変動、人権保護、自然災害に伴う被災者支援など、国家のみでは解決が困難なグローバル課題における国際機構や非政府組織(NGO)、企業、個人などの多様なアクター間の協力と調整メカニズムについて。近年では、人道支援、開発支援、環境問題等の事例を通じ、国際機関が他のアクターと連携する調整メカニズムについて探求している。

井上慶子(いのうえ けいこ)

特定非営利活動法人ピースウィンズ・ジャパン ウガンダ事業現地事業責任者

神戸大学大学院国際協力研究科博士課程後期修了。博士(学術)。専門は教育経済。大学院在学中にウガンダ教育スポーツ省、UNESCO バンコク、UNICEF ジンバブエ、非営利組織 FHI360 などでインターン。2016 年より特定非営利活動法人ピースウィンズ・ジャパンに入職。シリア事業の傍ら、イラク、ハイチ、モザンビーク事業従事を経て、2021 年より南スーダンおよびウガンダ事業の現地調整員としてウガンダに駐在。2024 年から現地事業責任者としてウガンダ事業に従事。

参考 URL：<https://global.peace-winds.org/activity/area/uganda>

宮地 佳那子(みやち かなこ)

特定非営利活動法人 難民を助ける会(AAR Japan) トルコ事務所駐在代表

新聞記者、公益財団法人「ジョイセフ」勤務を経て、2019 年に AAR 入職。バングラデシュ・コックス

バザール事務所でロヒンギャ難民支援に 3 年半従事した後、2023 年にトルコ・イスタンブール事務所に異動し、シリア難民支援にかかわってきた。早稲田大学社会科学研究科修士。

モデレーター:

樋口 博昭(ひぐち ひろあき)

ジャパン・プラットフォーム 海外事業部 部長

1995 年～2007 年、ウガンダにて NPO に従事し、水・衛生、教育など村落開発事業に携わる。2008 年～2010 年、カンボジアにて NPO に従事し、職業訓練など村落開発事業に携わる。2010 年～2015 年、南スーダン、ケニアにて NPO に従事し、帰還難民支援、難民支援に携わる。

2015 年、ジャパン・プラットフォームに入職。入職時は、パレスチナ・ガザ人道支援事業、および南スーダン人道支援事業の M&E に従事する。2016 年度は上記事業に加えアフガニスタン人道支援事業の M&E も担当。その後、海外事業部 部長を務め、現在に至る。

#### ■ セッションの流れ(Plan of the Session)

イントロダクション 3 分

モデレーター樋口さんより、会の趣旨説明および登壇者の紹介

<前半> 42 分

- ①赤星さん 14 分(対面で登壇)
- ②PWJ 井上さん 14 分(ウガンダから)
- ③AAR 宮地さん 14 分(トルコから)

<後半> 45 分

パネルセッション・質疑応答(モデレーター 樋口さん)

- (1)赤星さんから登壇者へ質疑
- (2)フロアから質問募集(モデレーター樋口さんより各登壇者へ質問振り分け)

#### ■ その他

登壇者のうち 2 名(PWJ 井上さん、AAR 宮地さん)が海外からオンラインにて登壇。  
会場での質疑応答時のマイク回しは、WG メンバーで対応。

(2ページ以内に収めてください。Please keep it within 2 pages)